製鉄記念室蘭病院が外来を拡充

来月 緩和ケア設置

脳神経外科は週5回に

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）は、5月から緩和ケア外来を設置する。また、これまで月2回の完全予約制外来の対応だった脳神経外科の外来診療は、4月から常勤医による週3回の診療体制に変更するなど、専門外来の新設や、診療科の拡充を進めている。

がんの痛みを抑えたり、症状をコントロールするなどが中心となる緩和ケア外来の設置は、今年4月に「北海道がん診療連携指定病院」の指定を受けた体制整備・充実の一環。ホスピスを設置する洞爺温泉病院の中谷怜二院長が、診療を担当する。

診療は5月7日からスタート。以降、隔週火曜日の午後2時～午後5時に行う。完全予約制。同病院は「患者と家族が可能な限り、質の高い療養生活を送れるよう、緩和ケアも含めたトータルながん診療を目指したい」としている。

一方、脳神経外科の外来診療体制変更については、脳卒中に関連する動脈硬化疾患をはじめ、脳神経外科領域と同病院内他科とも連携した診療治療を行うことで、地域医療に貢献する―とした方針に沿った対応。

これまで、大川原脳神経外科病院の協力で月2回、出張医による完全予約制の対応だったが、今年4月に林征志医師が脳神経外科長に着任。月と水、木曜日の午前・午後に外来診療を行う。

緩和ケア科の予約など、問い合わせは同病院、電話0143・44局4650番へ。

（松岡秀宣）

※脳神経外科は、週３回の誤りです。